

Namegata Yasai Challengers

[Interview]
若手農業者インタビュー

行方の
おいしい
未来を
つくる人



豊かな台地と湖があり自然環境に恵まれた本市は、年間を通じて数多くの農産物を生産する、県内有数の農業地域です。しかし現在、高齢化や後継者不足という課題に直面しています。

このような厳しい現状にある本市の農業ですが、そこに新しい風を吹き込もうとする存在がいます。それが、市内で就農している「若手農業者」です。

異業種からの転身、夫婦での挑戦、祖父母や親から農業を継ぐなど、就農のきっかけはさまざまですが、共通しているのは、農業に向き合う真摯な姿勢と情熱です。伝統を受け継ぎ、未来へとつないでいこうと日々努力を重ねています。

本号の特集では、試行錯誤を重ねながら本市の農業の明日を切り拓く、若き農業者の皆さんと、4月に新体制で再始動した農業振興センターの紹介をします。

【作っているもの】

チンゲンサイ・長ネギ・米



家族が農業を営む姿を見ていて、将来は自分で経営したいと考えていました。高校卒業後は、農業資材の会社に就職し、21歳の時に就農しました。現在は、主にチンゲンサイと長ネギを栽培しています。最近では、人件費や資材・燃料費の高騰など、厳しい状況が続いていますが、こんな時だからこそ新しい栽培方法に挑戦するなど、試行錯誤を重ねています。周囲に若い就農者が少ない環境ではありますが、自分が先頭に立って地域を引っ張っていきたいという思いで、日々取り組んでいます。



実家で長ネギ栽培を学んでいます。そして、将来的には独立したいと考えています。

河野 朱馬さん



シャキシャキの歯ごたえと、優しい甘みがあるチンゲンサイを周年出荷しています。

【問】農業振興センター ☎ 0291-35-3114

河野 彩斗さん

若い農家の先頭に立って盛り上げたい



新しい栽培方法に挑戦しています！





【作っているもの】

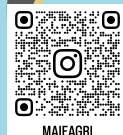
レンコン・セリ・サヤインゲン

21歳のときに就農しました。結婚し、子どもが生まれたのをきっかけに妻も就農し、現在では夫婦で就農しています。メインで栽培しているのはレンコンで、季節に合わせてセリやサヤインゲンも栽培しています。「自分たちの作る野菜を多くの方に知ってほしい」という思いから、SNSでの発信もしており、SNS経由で注文をいただくこともあります。お客さんから直接うれしい感想をいただけることもあり、大きな励みになっています。現在はふるさと納税に出したり、市のECサイトなどで販売したりもしています。今後は、現在の規模を維持して、安定した販路を確保しつつ、将来的には販路の拡大にも取り組んでいきたいと考えています。



お客様の声は大きな励みです！

みずみずしく豊かな歯ごたえと甘みが特徴で、丹精込めて作っています。



MAIEAGRI



一口で広がる豊かな甘みと香りが特徴で、旬な時期にぜひ味わってみてください。

全て自分でできるように早く仕事を覚えたいです！



川島 嵐太さん

【作っているもの】

イチゴ・米

小さな頃から祖父母がイチゴを作る姿を見ており、たまに作業を手伝っていました。大学時代に、農業をしている親戚の手伝いをする中で、その魅力に引かれ、大学卒業と同時に就農しました。今年就農したばかりのため、現在は一連の栽培方法を祖父母に教えてもらいながら取り組んでいます。覚えることばかりの毎日ですが、辛さを感じることもなく、毎日が新鮮で充実しています。将来的には自分で経営し、事業が軌道に乗れば栽培面積の拡大や新たな販路開拓などにも挑戦していきたいと考えています。



就農してから新鮮で充実した毎日



これから農業の勉強を
続けていきます！



【作っているもの】

水菜・エシャレット・
ハーブ・サツマイモ・米

小さな頃から家族が働く姿を身近で見
て育ち、自然と「将来は農業の道に進みた
い」と思うようになりました。農業大学
校で農業を学び、卒業後に就農しました。
多品目の野菜を栽培しており、毎日忙し
くもありますが、日々の農作業の中で新
しい学びが多く、とてもやりがいを感じ
ています。今後は、自分自身の軸として
米作りに力を入れてやっていきたいと考
えています。新しい技術を取り入れたり、
工夫を重ねたりしながら収量を増やして
いけるよう、これからも勉強を続けてい
きたいと思います。



みずみずしさと
シャキッとした食
感が特徴です。

鈴木 涼介さん

将来は米作りに力を入れていきたい



こだわりのキストマトを
多くの人に味わってほしい。



高糖度で濃密な
甘みと弾ける
ジューシーさが
特徴です。

【作っているもの】

トマト・フルーツマト・米

実家が農家だったことから、高校卒業後
に就農しました。主に「キストマト」とい
うフルーツマトを栽培しています。キス
トマトを生産する農家は、現在市内に3
件しかありません。キストマトは水の管理
が難しく、高い糖度を保ちつつ、みずみ
ずしいトマトを育てるのは簡単ではありま
せん。糖度と酸味のバランスが取れたお
いしいトマトを皆さんに届けるために、
日々考え、工夫しながら生産しています。

東山 雅幸さん

糖度と酸味のバランスを日々考えて



農家さんで
2年間研修しました！



【作っているもの】
エシャレット・セリ・米

前職は消防士をしていましたが、妻の実家がエシャレット農家であったことをきっかけに就農しました。農業は全く未経験でしたが、近所のエシャレット農家の方に栽培方法やノウハウを丁寧に教えていただき、今年から本格的にスタートしました。当初は少し不安もありましたが、実際に始めてみると農作業が自分にとっても合っており、今では毎日充実した日々を送っています。同じタイミングで就農した妻と力を合わせ、経済的な面を安定させ、将来的には規模を拡大していきたいと考えています。

シャキシャキの食感とマイルドな辛みが特徴で、生で食べてもおいしいです。



高野雅則さん

消防士から農家へ

【 Information 】 行方市農業振興センターとは？



行方市農業振興センターは、これまで市の農業振興のために、農業に関する研究や意見交換、収穫体験などを実施してきました。これらの活動を継続しながら、今後の行方市の農業の新たな可能性を探るため、本年の4月から新体制で再始動しました。

市内の農業者の皆さんや関係機関と手を取り合い、本市の農業の方向性を考え、外部の企業・団体との連携を図るなど、本センターが「ハブ」となり、本市の農業の持続的な発展のために取り組んでいきます。

また、定期的に農業に関する情報発信も行っていくしますので、ご期待ください。

本センターの機能を充実させるため、現在アンケートを実施しています。「こんなサポートが欲しい」「こんなことに悩んでいる」といったご要望をベースに、今後の施設の役割を形作っていきますので、ご回答をお願いします。

アンケート
実施中!!

皆さんのご意見をもとに、よりよいサポートを目指します。
ご協力いただいた方の中から抽選で30人の方に
お礼（QUOカード1,000円分）をお送りします。
※当選のご案内は、発送をもって代えさせていただきます。



【問】農業振興センター ☎ 0291-35-3114
住所：行方市山田3282-10(保健センター裏)
ご意見やご相談がある方は、電話または直接
農業振興センターへお越しください。

幕張メッセで開催される 「農業WEEK」への参加者募集

農業振興センターでは、最新の農業技術やスマート農業機器、農業資材などが一堂に会する日本最大級の展示会「農業WEEK (J-AGRI)」(※)への参加者を募集します。最新技術展示や情報収集、企業との交流を通じて、今後の農業経営や、地域農業の発展につながるヒントが得られる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

■期日：10月9日（金）

■時間：北浦庁舎発8:30、会場10:30～15:00、北浦庁舎着17:00

■対象：市内認定農業者、農業関係者

※今後認定農業者の申請を予定している方、市関連団体所属者なども参加可能です。

■人数：40人 ※応募者多数の場合は抽選

■場所：幕張メッセ ※貸切バスを予定

■料金：無料

■申込：右のQRコードから

■締切：9月25日（金）



【問】農業振興センター ☎ 0291-35-3114

農業改良普及センターでは、新規就農者や新規参入者などを対象に、農業学園を開催しています。本講座は、農業に関する基礎的な知識の習得や、若手農業者のネットワークづくりを目的としています。農業を始めて間もない方や農業を始めたいと思っている方は、ぜひ農業改良普及センターにご連絡ください。

農業学園のお知らせ



過去に開催された
農業学園の様子

今後の開催計画

第3回	病害虫・雑草対策講座	10月開催
第4回	市場研修	11月開催
第5回	行方地域農業後継者クラブプロジェクト発表会	1月開催
第6回	土作り講座、閉講式	2月開催

【問】茨城県鹿行農林事務所 行方地域農業改良普及センター ☎ 0299-72-0256

※農業WEEK (J-AGRI)：スマート農業EXPO、農業資材EXPO、次世代農業EXPO、畜産資材EXPOなど6展